

衛生研究所WEBページ情報

(アクセス件数・順位 平成22年12月分、電子メールによる問い合わせ・追加・更新記事 平成23年1月分)

横浜市衛生研究所ホームページ(衛生研究所WEBページ)は、平成10年3月に開設され、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。

今回は、平成22年12月のアクセス件数、アクセス順位及び平成23年1月の電子メールによる問い合わせ、WEB追加・更新記事について報告します。

なお、アクセス件数については総務局IT活用推進課から提供されたデータを基に集計しました。

1 利用状況

(1) アクセス件数 (平成22年12月)

平成22年12月の総アクセス数は、224,853件でした。主な内訳は、感染症68.7%、食品衛生10.5%、保健情報8.0%、検査情報月報4.3%、生活環境衛生1.1%、薬事2.0%でした。

(2) アクセス順位 (平成22年12月)

12月のアクセス順位(表1)は、第1位が「インフルエンザワクチンについて」、第2位が「マイコプラズマ肺炎について」、第3位が「感染症発生状況」でした。

第1位の「インフルエンザワクチンについて」は、「2010年度のインフルエンザワクチンについて」の記事の掲載と同時に、12月の月上旬に更新しました。

横浜市は、12月の第3週にインフルエンザの流行期に入っており、その影響もあって、アクセス件数が増加したものとされます。

インフルエンザ以外の冬に流行する感染症(「RSウイルス」(第4位)や「アデノウイルス」(第6位)、「ロタウイルス」(第8位))に関しても、アクセス件数の増加が見られました。

第3位の「感染症発生状況」、第5位の「臨時情報」では、インフルエンザと感染性胃腸炎について、市内における最新情報を掲載しています。

第2位は「マイコプラズマ肺炎について」でした。

国立感染症情報センターの報告によると、マイコプラズマ肺炎の定点当たりの報告数は、48週(11/29～12/5)では、過去5年間の同時期と比較して、かなり多い状況でしたが、49～51週(12/6～26)には、かなり多い状況から比較的多い状況に推移し、52週(12/27～1/2)には減少しました。

12月上旬において流行が見られ、アクセス数が多かったものと思われます。

表1 平成22年12月 アクセス順位

順位	タイトル	件数
1	インフルエンザワクチンについて	16,456
2	マイコプラズマ肺炎について	15,964
3	感染症発生状況	3,469
4	RSウイルスによる気道感染症および パピズマブ(シナジス)について	3,169
5	臨時情報	3,120
6	アデノウイルス感染症について	3,040
7	アシネトバクター感染症について	3,030
8	ロタウイルスによる感染性胃腸炎について	2,868
9	感染症に気をつけよう	2,537
10	サイトメガロウイルス感染症について	2,487

データ提供：総務局IT活用推進課

(3) 電子メールによる問い合わせ（平成23年1月）

平成23年1月の問い合わせは、2件でした(表2)。

表2 平成23年1月 電子メールによる問い合わせ

内容	件数	回答部署
リンクについて (高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)について)	1	感染症・疫学情報課
野鳥の死がいについて	1	感染症・疫学情報課(微生物部門と合議)

2 追加・更新記事（平成23年1月）

平成23年1月に追加・更新した主な記事は、9件でした(表3)。

表3 平成23年1月 追加・更新記事

掲載月日	内容	備考
1月 7日	感染症に気をつけよう (1月号)	追加
1月 7日	衛研 Q & A - インフルエンザ編 -	追加
1月17日	パンフレット「正しい手洗い」(日本語版・英語版)	追加
1月17日	ブルセラ症について	更新
1月18日	子宮頸がんを予防するワクチンを知っていますか？	追加
1月18日	衛研 Q & A - シラミ編 -	追加
1月24日	南米出血熱の届出基準・届出様式が変更になりました	更新
1月24日	高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生状況	更新
1月28日	横浜市インフルエンザ等流行情報 4号	追加

【 感染症・疫学情報課 】